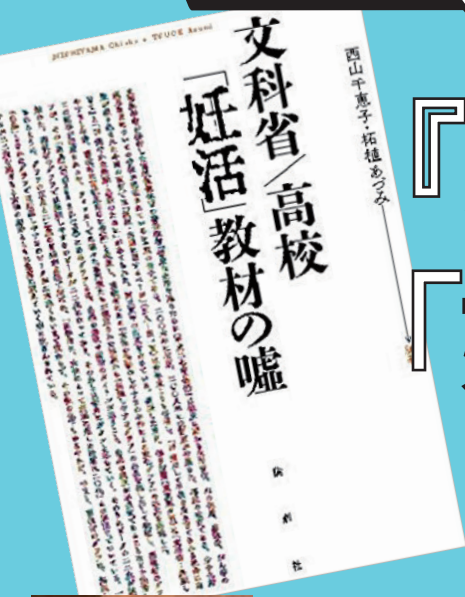


著者と語り合う!



『文科省／高校「妊活」教材の嘘』 を読む



講師 **西山 千恵子**

(青山学院大学・慶應義塾大学ほか非常勤講師)

お茶の水女子大学大学院修士課程修了。共編著書に『首長たちの挑戦—女が政治を変える』(世織書房、2016年)、共著書に『ビデオで女性学』(有斐閣、1999年)など。

講師

柘植 あづみ (明治学院大学社会学部教授)

お茶の水女子大学大学院博士後期課程単位取得退学、博士(学術)。主な著書に『生殖技術—不妊治療と再生医療は社会に何をもちますか』(みすず書房、2012年)、『妊娠を考える—くからだをめぐるポリティクス』(NTT出版、2010年)ほか。



入場無料・申込不要

2017年
11月13日(月)
18:30～20:30
11号館2階 A203教室
立教大学池袋キャンパス

2015年、文部科学省が改訂した高校保健体育の副教材『健康な生活を送るために』には、生徒たちを若い年齢での結婚、妊娠、出産に追い立てる記述がちりばめられ、改ざんされたグラフまで載っていました。この教材に疑問を抱いた女性学などの研究者らが、データの原典に当たるなど内容を点検し、政府に対策を申し入れた経緯をまとめた『文科省／高校「妊活」教材の嘘』(論創社)が今年の5月に出版されました。編著者である西山千恵子さん、柘植あづみさんを講師にお招きし、少子化への危機感を背景に学界の協力のもと文科省が作成した「早期妊娠・出産の勧め」の問題点をさまざまな角度から検討します。

お子様を連れてご参加を希望される方は事務局にご相談下さい。